

第 36 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム開催概要

1. 受付 8月19日(金) 12:00 ~
8月20日(土) 8:30 ~
北海道大学薬学部正面玄関
※事前登録された方は、当日受付にて事前参加登録確認メールのコピーをご提示
ください。
2. 参加費 一般 5,000 円 (事前登録)、6,000 円 (当日登録)
学生 無料 (事前登録)、 無料 (当日登録)
※会場内では必ずネームカードをお着けください。
3. 懇親会 8月19日(金) 19:00 ~
会場：サッポロビール園
〒060-0907 北海道札幌市東区北7条東9丁目2
懇親会費：一般 7,000 円、学生 5,000 円
4. 世話人会 日時：8月19日(金) 12:30 ~ 13:30
会場：北海道大学薬学部 第二講義室

5. 発表形式

開催講演	発表形式・発表時間
特別講演	口頭発表 (質疑応答を含め 60 分)
シンポジウム	口頭発表 (質疑応答を含め 30 分)
一般演題	ショートトーク (発表 6 分、質疑応答 2 分) とポスターの両方で発表

6. 口頭発表

口頭発表は PowerPoint による PC 発表に限ります。

特別講演、シンポジウム、ランチョンセミナーの演者の先生におかれましては、ご講演の 30 分前までに以下の備え付け PC にて受付・試写を頂くか、ご自身の PC でのご発表をお願いします。ご自身の PC をご利用の場合は、Mini-D sub15 ピンの形状にあった PC あるいはコネクタをご用意ください。

一般演題の演者の先生方は発表当日の 13 時 15 分までに受付にデータの持ち込み・試写を済まされ、下記 PC でご発表していただきますようお願い申し上げます。

備え付け PC 環境は以下の通りです。

対応 OS	Windows 8、Mac OSX (El Capitan)
アプリケーション	Windows 版 PowerPoint2013、Mac 版 PowerPoint for Mac 2011
受付メディア	USB フラッシュメモリ、CD-R

ファイル名	ファイル名には「セッション名：演者名」を付けてください。 例) 一般演題：北大太郎
動画・音声	動画・音声は持ち込み PC（特別講演、シンポジウム、ランチョンセミナー）のみ対応可

※スクリーンセーバーならびに省電力設定はあらかじめ解除してください。

※バッテリーでのご発表はトラブルの原因となりますので必ず電源ケーブルをご持参ください。

※座長の先生は、ご担当セッション開始 30 分前までに受付をお済ませください。

7. ポスター発表

一般演題のポスターは、掲示ボード（縦×横：160 cm × 90 cm）に掲示できる大きさで作成ください。ポスターは 8 月 20 日（土）の一般演題（口演）終了後の休憩時間に、プログラムに記載のポスター番号に従って掲示をお願いいたします。一般演題に関する詳細な質疑応答はポスターセッションの際に行います。

8. 大会本部・クロークについて

北海道大学薬学部臨床講義棟の「セミナー室」にクロークを開設しています。

9. 休憩室について

北海道大学薬学部臨床講義棟の「第二講義室」を休憩室としてご利用いただけます。

10. 写真・ビデオ撮影について

演者および事務局の許可を得ずにスクリーンやポスターの撮影を行うことはご遠慮ください。尚、事務局スタッフが会場内を撮影する場合がございますが、あらかじめご了承ください。

11. 駐車場について

会場には一般参加者の駐車スペースはございませんので、公共交通機関をご利用ください。

12. お問い合わせ先

第 36 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム事務局

北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室

事務局長 天野大樹

TEL/FAX: 011-706-3248/4987

E-mail: jnrc2016@pharm.hokudai.ac.jp

学会ホームページ: <http://www.pharm.hokudai.ac.jp/yakuri/jnrc2016/index.html>

日 程 表

第36回 鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム(JNRC2016)

8月19日(金)		8月20日(土)	
12:00	受付開始	9:00	シンポジウム3 「オピオイド処方 ^レ の現状と展望」 井関雅子 山口重樹 住谷昌彦 座長:井関雅子・池田和隆
12:30	世話人会	10:30	休憩
13:30	開会挨拶	10:45	特別講演2 川股知之 (和歌山県立医科大学) 座長:並木昭義
13:45	シンポジウム1 「痛み・痒み・ストレスとグリア」 津田誠 中川貴之 古屋敷智之 座長:倉石泰・津田誠	11:45	休憩
15:15	休憩	12:00	ランチョンセミナー 小川節郎 (日本大学病院) 座長:花岡一雄
15:30	シンポジウム2 「オレキシン研究の最前線」 山中章弘 成田年 長瀬博 座長:大村優・中川貴之	13:00	休憩
17:00	休憩	13:15	世話人会報告・INRC報告
17:15	特別講演1 加藤総夫 (東京慈恵会医科大学) 座長:南 雅文	13:45	一般演題(口演) 座長:上園保仁・川股知之
18:15	タクシーで移動	15:45	休憩・ポスター掲示
19:00	懇親会	16:00	一般演題(ポスター)
20:30	サッポロビール園	18:00	閉会の辞・ポスター撤去
		18:15	
		21:00	世話人情報交換会 JNRC次世代を担う若手の会

プログラム

8月19日(金)

開会の辞

13:30 ~ 13:40

世話人代表：南 雅文（北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室）

シンポジウム1「痛み・痒み・ストレスとグリア」

13:45 ~ 15:15

座長：倉石 泰（東京医科歯科大学 リサーチ・アドミニストレーター室）

津田 誠（九州大学 大学院薬学研究院 ライフイノベーション分野）

痛みと痒みの慢性化とグリア細胞

津田誠（九州大学 大学院薬学研究院 ライフイノベーション分野）

シュワン細胞を標的としたがん化学療法誘発末梢神経障害の発生機構の解析
と新たな治療戦略の開発

中川貴之、今井哲司（京都大学 医学部附属病院 薬剤部）

ストレスと脳内炎症様変化

古屋敷智之（神戸大学 大学院医学研究科 薬理学分野）

休憩

15:15 ~ 15:30

シンポジウム2「オレキシン研究の最前線」

15:30 ~ 17:00

座長：大村 優（北海道大学 大学院医学研究科 神経薬理学分野）

中川貴之（京都大学 医学部附属病院 薬剤部）

オレキシン神経による鎮痛作用

犬東歩、山下哲、スリカントチョドリ、田口徹、山中章弘

（名古屋大学 環境医学研究所）

神経細胞分化・成熟過程におけるオレキシン及びオキシトシンの発現変動解析

成田 年（星薬科大学 薬理学教室）

オレキシン2受容体作動薬の設計・合成

長瀬 博¹⁾、永原崇志²⁾、斉藤 毅¹⁾、杓村憲樹¹⁾、入鹿山容子¹⁾、

小川靖裕¹⁾、黒田大祐³⁾、合田浩明³⁾、藤井秀明²⁾、柳沢正史¹⁾

(¹) 筑波大睡眠研究機構 (WPI-IHIS)、²) 北里大薬、³) 昭和大薬)

休憩

17:00 ~ 17:15

特別講演 1

17:15 ~ 18:15

座長：南 雅文（北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室）

ホルマリン炎症遷延性疼痛モデルを用いた脳内慢性化過程の解析

加藤総夫（東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 神経科学研究部、
東京慈恵会医科大学 先端医学推進機構・痛み脳科学センター）

8月20日（土）

シンポジウム 3 「オピオイド処方 の現状と展望」

9:00 ~ 10:30

座長：池田和隆（東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト）

井関雅子（順天堂大学 医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座）

非がん疼痛に対する各種オピオイドの位置づけ

井関雅子（順天堂大学 医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座）

本邦と欧米の現状からオピオイド鎮痛薬処方の適正化について考える

山口重樹¹、Donald R. Taylor² (¹) 獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座、

²) Comprehensive Pain Care, P. C., US)

がん治療期を支えるオピオイド鎮痛薬の臨床研究

住谷昌彦¹、城山亮輔² (¹) 東京大学 医学部附属病院 緩和ケア診療部/麻酔科・痛みセンター、

²) 東京大学 医学部附属病院 薬剤部)

休憩

10:30 ~ 10:45

特別講演 2

10:45 ~ 11:45

座長：並木 昭義（小樽市病院局）

骨がん痛の研究からがんの痛みを考える

川股知之 (和歌山県立医科大学 麻酔科学教室)

休憩

11:45 ~ 12:00

ランチョンセミナー

12:00 ~ 13:00

座長：花岡一雄 (J R 東京総合病院)

慢性痛に対するオピオイド製剤使用の現状と問題点

小川節郎 (日本大学総合科学研究所)

休憩

13:00 ~ 13:15

世話人会・INRC 報告

13:15 ~ 13:45

一般演題

13:45 ~ 15:45

座長：上園保仁 (国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)
川股知之 (和歌山県立医科大学 麻酔科学教室)

1. (13:45 ~ 13:53)

炎症性疼痛モデルラットにおける扁桃体-中脳水道周囲灰白質シナプス伝達

発表者：高橋由香里 (東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 神経科学研究部)

2. (13:53 ~ 14:01)

嗅球摘出ラットの情動過多反応に及ぼす δ オピオイド受容体作動薬 KNT-127
連続投与の影響

発表者：斎藤顕宜 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究 精神薬理研究部)

3. (14:01 ~ 14:09)

島皮質の興奮性神経伝達に対する δ オピオイド受容体作動薬 KNT-127 の効果

発表者：岩井孝志 (北里大学 薬学部 薬理学研究室)

4. (14:09 ~ 14:17)

$Ca_v2.3$ (R型)電位依存性 Ca^{2+} チャネル遺伝子多型と鎮痛薬感受性との関連

発表者：井手聡一郎（東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト）

5. (14:17 ~ 14:25)

タバコ・ニコチン依存に影響を及ぼすオピオイド受容体関連遺伝子

発表者：笠井慎也（東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト）

6. (14:25 ~ 14:33)

がん疼痛下のモルヒネ報酬効果減弱におけるミクログリアの関与

発表者：前田武彦（新潟薬科大学 薬学部 薬効薬理学研究室）

7. (14:33 ~ 14:41)

メサドンの薬理作用発現機序の解析: NMDA 受容体非依存的
 μ -オピオイド受容体下流シグナル応答

発表者：森友久（星薬科大学 薬理学教室）

8. (14:41 ~ 14:49)

G タンパク質依存的あるいは非依存的分類に基づいた
数種 μ -オピオイド受容体作動薬の分子薬理的プロファイリング

発表者：河田美穂（星薬科大学 薬理学教室）

9. (14:49 ~ 14:57)

マウス慢性モルヒネ投与誘発痛覚過敏における末梢炎症性メディエーター
の役割

発表者：雑賀史浩（和歌山県立医科大学 医学部 薬理学教室）

10. (14:57 ~ 15:05)

Oxaliplatin によって誘発される末梢虚血状態への加温による
急激な血流増加に伴うしびれ様不快異常感覚

発表者：安東嗣修（富山大学 大学院医学薬学研究部（薬学） 応用薬理学）

11. (15:05 ~ 15:13)

神経障害性モデルマウスの血清中エクソソームは低濃度ホルマリン誘発
侵害刺激行動を増強する

発表者：濱村賢吾（第一薬科大学 薬学部 薬品作用学分野）

12. (15:13 ~ 15:21)

全脳虚血誘導性機械的アロディニアに対する脊髄
high mobility group box-1 の関与

発表者：松浦 渉（神戸学院大学 大学院薬学研究科 臨床薬学研究室）

13. (15:21 ~ 15:29)

長鎖脂肪酸受容体 GPR40/FFAR1 の欠損は痛みの増強に関与する

発表者：中本賀寿夫（神戸学院大学 大学院薬学研究科 臨床薬学研究室）

14. (15:29 ~ 15:37)

新規ビシクロ [2.2.2] オクテン骨格を有する κ 受容体選択的作動薬の
合成と薬理評価

発表者：谷田誠浩（筑波大学大学院 数理物質科学研究科）

15. (15:37 ~ 15:45)

ナルフラフィンの構造を基にしたオレキシン 1 受容体選択的拮抗薬の

設計・合成およびその薬理作用」

発表者：山本直司（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIS））

休憩・ポスター掲示

15:45 ～ 16:00

ポスターセッション

16:00 ～ 18:00

閉会の辞

18:00 ～ 18:10

世話人代表：南 雅文（北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室）

謝辞

第36回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムの運営にあたり、以下の企業より多大なご援助をいただきました。ここに深甚なる感謝の意を表します。

(平成28年8月吉日)

協賛

【セミナー共催】

塩野義製薬株式会社

【広告】

ファイザー株式会社

日本臓器製薬株式会社

大正富山医薬品株式会社

久光製薬株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

大日本住友製薬株式会社

株式会社エイコム

バイオリサーチセンター株式会社

株式会社ムトウ

室町機械株式会社